

ブラザーグループ 新中期戦略「CS B2018」策定

ブラザー工業株式会社(社長:小池利和)は、このたび、2016年度から2018年度までを対象とした、ブラザーグループ 新中期戦略「CS B2018」(以下「CS B2018」)を策定いたしました。「CS B2018」では、“Transform for the Future ～変革への挑戦～”をテーマに、構造改革にチャレンジしてまいります。

「CS B2018」策定の背景

ブラザーグループは、中長期ビジョン「グローバルビジョン 21」(以下 GV21)において、目指すべき3つの項目を掲げております。

1. 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
2. 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
3. 「“At your side.”な企業文化」を定着させる

ブラザーグループでは、この GV21 実現に向けたロードマップとして、中期戦略を策定しております。2011年には、5年間の中期戦略「CS B2015」をスタートさせ、プリンティング事業を主軸として各事業において、成長への挑戦を行ってきました。また、積極的な M&A が功を奏し、売上高は CS B2015 の目標値を達成する見込みです。

しかし、モバイル端末の普及に伴う印刷機会の減少など、プリンティング市場の環境変化が加速する中、ブラザーが目指す“未来永劫に繁栄する会社”を実現するためには、収益を持続的に生み出すことのできる筋肉質な企業への転換が必要です。

このような認識のもと、ブラザーグループでは、1. 事業、2. 業務、3. 人財の3つの変革にチャレンジし、プリンティング事業中心の体制から、今後の成長が見込まれる産業用領域^{*1}や新規事業に重点を置き、複合事業企業を目指します。

*1…マシナリー事業(工業用マシン、産業機器、工業用部品)やドミノ事業など

「CS B2018」の概要

■「CS B2018」のテーマ: “Transform for the Future ～変革への挑戦～”

■業績目標^{*2}:

為替前提:1USD=115円、1EUR=130円

	2018年度目標	(参考 ^{*3})2015年度業績予想
売上収益	7,500億円	6,854億円
営業利益	600億円	465億円
営業利益率	8.0%	6.8%

*2 国際財務報告基準(IFRS)適用

*3 2018年度との比較参考値(ドミノ事業は12カ月換算)。2015年度第3四半期決算時点の通期業績予想値とは異なります。

■3つの変革

1. 事業の変革:

「プリンティング中心の事業構成から、複合事業企業を目指したポートフォリオ経営への事業構成の変革」

- ・プリンティングを含めた成熟市場に位置する既存事業/既存商品での、収益力とキャッシュ創出力の強化
- ・産業用領域強化に向け、産業用印刷領域、ファクトリーオートメーション領域、ソリューション領域へとつながる成長領域事業への重点投資
- ・成長領域事業を基軸に成長シナリオを検討し、的を絞った新規事業テーマの更なる育成

2. 業務の変革:

「限られた資源の最大活用と、徹底的な効率化を実現し、その資財で未来に向けた顧客価値創出活動を増強」

- ・あらゆる業務をグループ全体で徹底的に見直し、できる限りのリソースを顧客価値の創出活動に向ける
- ・業務プロセスを改善し、限られた資源を最大限活用できる、柔軟かつ強いバリューチェーンの構築
- ・機能センターを立上げ、将来技術を含めたモノづくり力と顧客価値創出力を、事業部門との切磋琢磨で総合的に強化

3. 人財の変革:

「ブラザーDNAの伝承に根差した、未来永劫の繁栄を牽引する次世代人財育成と、グループ人財活用の最大化」

- ・ポートフォリオ改革に向け、新たな事業を牽引し、グループを成長に導ける次世代経営人財の育成
- ・DNAを伝承し、「競合優位なモノづくり力」、「ブラザーへの誇り」、「“At your side.”の精神」を持つグローバルでの人財育成
- ・グループ全体の多様な従業員の能力が、最大限発揮されるための適正配置やキャリアパス・評価制度の整備

<報道関係 お問い合わせ先>

ブラザー工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 柚原(ユハラ)・神谷
TEL: 052-824-2072 FAX: 052-811-6826 E-mail: kouhou@brother.co.jp